

6-1 チェーンメール

友人から回ってきたメッセージで個人情報流出

友人の間だけで回した内容だったのに



無料通話アプリで、学校の友人からバトンが回ってきました。質問内容を読み、Oさんは、気軽な気持ちで名前や年齢、学校名などを答えました。

ネットで知り合った人に待ち伏せされた



ネットで知り合った男性に待ち伏せされたOさん。以前、その人に無料通話アプリのアカウントを教えたため、Oさんは、情報を見られていたのです。

解説

バトンの内容、読めるのは本当に親しい友人だけ？

無料通話アプリのタイムラインなど、日常のつぶやきを投稿できるサービスを利用した「バトン」というものがはやっています。バトンとは、定型の質問に答えながら次の人へと回していく遊びのようなもの。一般的なチェーンメールとは違いもともと悪意はないのですが、公開範囲設定をしていなければ、友人登録しているすべての人が読めるため、トラブルに発展することも少なくありません。個人情報には答えない・回さないように心掛けるとともに、**ネットで一言二言話して友人登録した相手は、タイムラインの非公開設定をしましょう。**

小・中学生が常に心掛けたいこと

その1

ネットやSNSでは、名前など書き込まない

名前や住所、学校名のほか、個人情報に関することは書き込まないのが原則です。投稿もバトンと同じだと考えましょう。

その2

限られた人だけの空間でも、広がる可能性あり

学校の友人だけとのやり取りでも安心は禁物。コピーしやすく広がりやすいというネットの特性を理解・意識して使いましょう。

その3

親しい友人たちと話し合って考える

バトンに限らずチェーンメールは「回さない」のが一番。友達関係が悪くならないためにも、クラスや友人で話し合いましょう。